

◆所管事務調査

★議会運営委員会

愛川町、伊賀市を視察

7月6、7日の二日間、議会運営委員会の所管事務調査が実施されました。

議会基本条例、議員政治倫理条例の制定は議会改革特別委員会が担当しますが、引き続き議会改革に向けて、その一翼を担う責務が当委員会にあります。議会改革をさらに進展させるために先進地の議会運営について調査しました。

神奈川県愛川町の議会改革の推進方法として特筆すべき点は、可能なものは速やかに実施し、新たに改善すべきと考えられる事項は、その都度検討項目を設けて付け加え改善していること。そのこ

とにより議会改革の具体的な内容と実施の優先順位が明確になり、着実に成果を積み上げています。

三重県伊賀市は、平成19年3月全国の市の中で一番早く議会基本条例を制定し、全国のモデルとなっている議会でもあります。

参考になる取り組みは、①代表質問（3月予算審議定例会で会派代表によって）②関連質問（他議員の一般質問に関連の質問ができる）③正副議長選挙（立候補者を採用。臨時議会当日立候補者の所信表明会を開催。質疑あり）④議会のテレビ放映（本会議、予算特別委員会は生放送と再放送を行う）⑤政務調査費（交付対象を会派から個人に変更）⑥議会報告会（38地域を5〜6人体制で行う。単位は住民自治協議会単位で定例会後概ね1ヶ月以内）⑧議員政治

倫理条例（口利き条例を設置、議員特権で圧力をかけたものだけではなく、すべての口利きを書き留める）など。

副議長自ら説明をして下さったが、パワーとエネルギーを議会に感じました。議会報告会も回数を重ね、議員自らが住民の皆さんの矢面に立って緊張感の中で勉強を重ね成長されているのが肌で感じられました。

過日実施された議会議員選挙の投票率が75%であることも市民の議会への関心度の高さを物語っています。



三重県伊賀市にて

★厚生文教常任委員会

ふじみ野市エコス

クール、学校給食セン

ターを視察する

7月15日、厚生文教常任委員会は、平成21年4月に新設開校したばかりのふじみ野市の東台小学校を視察しました。

環境に配慮したエコスクールで太陽光発電を行っています。屋上に太陽電池モジュールパネル60枚



屋上の太陽光発電設備



教室と廊下の仕切が可動しオープンに



芝生化された校庭で



ドライ方式の学校給食センター

を取り付け、1万Wの発電が可能（冬は8000W）。蛍光灯で換算すると2000本分、10KWで年間15万円〜20万円の電気料を削減し、二酸化炭素も5〜7t削減できるといふ。また、建物の屋根から集めた雨水を濾過処理して、トイレの洗浄水や校庭の散水に利用する中水利用や屋上緑化も整備。

かみがあります、校庭の一部も芝生化されて緑が眩しく気持ちいい。そして、ふじみ野市大井学校給食センターを視察。ドライ方式の施設で衛生面でも大変優れていました。三芳町でも給食センターの建て替えが急務になっていますが大変参考になりました。

※ドライシステムは、厨房の床がいつでも乾燥した状態で使用でき、作業環境も安全で、細菌の繁殖を抑える衛生的な環境で調理出来ます。